



浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

春夏号

Vol.94

2024 (令和6年)

pickup

第64回浦添市医師会定時総会
浦添市医師会旧正新年会
第64回浦添市医師会ゴルフコンペ

CONTENTS

- 01 第64回浦添市医師会定時総会
- 02 二水会
2月「浦添市医師会旧正新年会」
4月「外国人診療に関する勉強会～沖縄在留ベトナム人コミュニティの紹介と医療体験～」
- 06 学術講演会
第152回「琉球への航路・医療の未来への軌跡と展望」
- 09 令和5年度那覇空港航空機事故対処総合訓練(報告) 救急・災害担当理事 比嘉 富貴
- 11 第64回浦添市医師会ゴルフコンペ 宮良クリニック 上原 哲夫先生
- 14 令和5年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告
入会・退会・異動報告
- 16 表彰
- 17 理事会報告
- 19 講演会・研修会等のご案内
- 20 事務局からのお知らせ
- 23 編集後記
浦添市医師会提供ラジオ番組
「ゆんたく健康トーク」出演予定

表紙の写真

「あじさいの花」

今年は少雨によるダム貯水率の低下から水不足が懸念され、沖縄県内では30年ぶりの給水制限(断水)の声も聞かれていましたが、梅雨に入った5月下旬以降のまとまった雨により、ひとまず給水制限は回避されました。そんな梅雨のしっとりとした空気や季節に似合うのがあじさいの花です。市内の学校や公園の園庭をはじめ、地域の皆さんが心を込めて植え育てた花園などで鮮やかな色とりどりのあじさいが見ごろを迎えています。表紙の写真は、日本原産の「ガクアジサイ」と呼ばれる種類で、花言葉が「謙虚」とつけられています。相手を思いやる優しい気持ちを表現するのにふさわしい花として、お世話になった方への感謝や敬意の気持ちを添えて贈ってみるのも如何でしょうか。



第64回 定時総会

日時:令和6年3月25日(月)19:00

場所:浦添市医師会事務局

第64回浦添市医師会定時総会が、3月25日(月)19時から浦添市医師会事務局にて開催された。

司会の藏下要副会長より、会員数263名のうち236名の委任状を含む出席による本総会成立と、上程された全ての議案について決議が可能との報告があり、開会が宣言された。

続いて洲鎌盛一会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、議場に諮ったところ執行部案の洲鎌盛一会長が選出された。

- ・ 議決権のある当法人会員総数：263名
- ・ 総会員の議決権の数：263個
- ・ 出席会員数(委任状によるものを含む)：236名
- ・ この議決権の総数：236個

第64回浦添市医師会定時総会

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

- 第1号議案 令和5年度(第32期)補正予算案に関する件(満場一致で承認)
- 第2号議案 令和6年度(第33期)事業計画案に関する件(満場一致で承認)
- 第3号議案 令和6年度(第33期)収支予算案に関する件(満場一致で承認)
- 第4号議案 定期預金の更新期間延長と解約について(継続審議)

以上をもって議長より本総会の議事を終了した旨が述べられ閉会した。



議事の様子

二水会(2月)報告

浦添市医師会 旧正新年会

日 時:令和6年2月9日(金)19:00

場 所:ホテルアラージュ沖縄



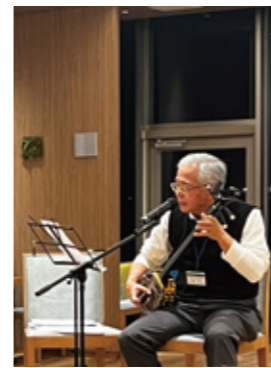
会員親睦・広報副担当事 照屋 徹

令和6年2月9日金曜日、沖電牧港発電所近くに令和4年オープンしたホテルアラージュ沖縄の9階、レストラン「Acousa」において令和6年旧正新年会を執り行いました。

洲鎌盛一会長の挨拶を皮切りに、新垣義清先生(まちなと小児クリニック)に乾杯のご発声をいただき、ワインブースでは山城惟欣先生(サンパーク胃腸内科クリニック)のサーブする厳選されたワインに舌鼓を打ちつつ食事を楽しみました。

会の中盤では昨年に引き続き上原哲夫先生により曲ごとに詩の解説をされながら唄三線をご披露いただきました。藏下要副会長の締め挨拶までの約2時間でしたが、会員間の話は尽きないようで時間が足りない印象を受けました。

この旧正新年会は平成31年に池村剛前会長のもと藏下要先生の発案で会員間の親睦を深める目的で始まりました。初回は50名余るご参加をいただきましたが、コロナ禍を経て今回は26名のご参加をいただきました。ご参加いただいた会員の皆様には大変感謝いたします。普段の医師会活動への参加が難しい会員の方も、今後ご参加いただき、顔の見える関係の構築にお役立ち頂けたら幸いと考えております。来年は更なる参加人数を目指したいと思いますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします



上原哲夫先生による三線演奏



会場の様子



会場の様子



福引大会も大盛り上がりでした♪1位は洲鎌会長が引き当てました!



洲鎌盛一会長による開会の挨拶



新垣義清先生による乾杯の音頭



山城惟欣先生によるワインコーナー也大盛況でした



二水会(4月)報告

外国人診療に関する勉強会

～沖縄在留ベトナム人コミュニティの紹介と医療体験～

日時:令和6年4月10日(水)19:00

場所:浦添市医師会事務局



外国人診療担当理事 山本 和儀

沖縄県の在留外国人は、コロナ禍のために一旦減ったものの、令和5年6月現在23,019人で、増加傾向にある。また、沖縄労働局によれば、外国人労働者数は令和5年10月現在14,406人で、22%の増加、過去最高を更新した。国籍別に見るとネパール人3,428人に次いでベトナム人が2,206人で外国人労働者全体の15.3%を占めている。

今回の外国人の診療に関する勉強会では、ベトナム人コミュニティの紹介と医療体験に焦点を当てた。浦添市国際交流協会の協力を得て情報提供者の人選にあたり、沖縄での在留歴が長く、名桜大学や沖縄大学非常勤講師、日本の書籍の翻訳者として活躍されているグエン・ド・アン・ニエンさんを講師に迎えた。伝統衣装のアオザイ姿で現れたニエンさんは、昨年50周年を祝った日越外交関係の歴史、ベトナムの革命・教育運動に協力した日本人医師浅羽佐喜太郎、ベトナム戦争当時にサイゴン(現ホーチミン市)やダナンにB52爆撃機が沖縄から飛来し、沖縄が“悪魔の島”と呼ばれていたが、戦後は本部町がベトナム難民を受け入れた歴史などを皮切りに、ベトナムの地理、人口増加・躍進著しい国情や生活に続いて医療事情、赤ちゃん事情について、予定の時間を大幅に超えて、熱心に語られた。

ベトナムでは“医者の日”という特別な感謝の日があり、ほとんどの国民が医療保険でカバーされているものの、公立病院では短時間の診察で十分な説明がないために、公務員医師等が時間外に開設している私立のクリニックでお金を払ってでも、待たずに、ゆっくりと丁寧な説明を受けられる“サービス診察”を好むこと。抗生剤や消炎鎮痛剤が手軽に手に入り、多くのベトナム人が漢方薬、ベトナムの伝統薬である“南薬”やサプリメントを好み、支援してきた多くの在沖の技能実習生がフコダインなどのサプリメントを買い求めるのを手伝ったとのこと。なお、ベトナム人労働者の多くが技能実習生として来日しており、高校卒業程度の教育しか受けていない方が多く、日本語能力も英語でコミュニケーションする力も十分でないとのことであったので、「やさしい日本語」では十分ではなく、ベトナム語の問診票や指差しのコミュニケーションツールを医療機関の側で準備する必要があると考えられる。

二人目の情報提供者は牧港中央病院・国際連携室の友利将悟氏が務めた。県内の米軍基地勤務の経験や高い英語力を活かし、他の担当者と共に洲鎌盛一理事長と一丸となって外国人診療に当たっていることについて事例を交えて報告があり、大変心強く思いました。懇親会では、医師会事務局が用意したベトナム料理をはじめ、お酒も交えて歓談・情報交換し、5年振りに開催された外国人の診療に関する勉強会を楽しみながら、外国人診療に関する心の壁を低くし、関係者との連携を深めた。浦添市企画部国際交流課の崎浜幸仁課長も参加された。浦添市役所の在留外国人支援へのリーダーシップを期待したい。



座長の山本クリニック院長
山本和儀先生



名桜大学・沖縄大学非常勤講師の
グエン・ド・アン・ニエンさん



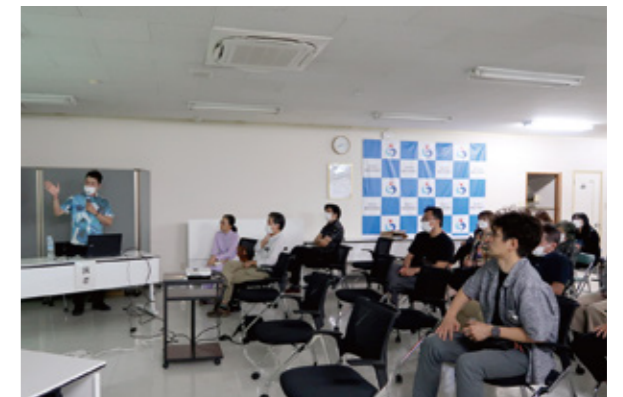
牧港中央病院国際連携室の
友利将悟さん



会場の様子



講演の様子



懇親会の様子



今回は宜野湾市にあるベトナムマリーアのベトナムヌードル(ブンチャー、ブンティットヌン) 海鮮揚げ春巻き(チャーゾー)、牛肉のミックスグリーンサラダもご用意しました

浦添市医師会学術講演会

第152回浦添市医師会学術講演会

学術・生涯教育担当理事 宮良 球一郎

日 時:令和6年1月17日(水)19:00

場 所:浦添市医師会事務局・ZOOM

日本医師会生涯教育講座1.0単位

カリキュラムコード:1(医師のプロフェッショナルリズム)、9(医療情報)

座長:浦添総合病院 病院長補佐兼循環器内科不整脈部長

仲村 健太郎 先生



『琉球への航路・医療の未来への軌跡と展望』

講師:琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

教授 楠瀬 賢也 先生

第152回浦添市医師会学術講演会において、2004年に医師になってから2023年7月に琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座の教授として赴任するまでの講演をさせていただきましたので、本稿ではその内容を中心にまとめたいと思います。

研修医時代

私が医師となった2004年は、医師に2年以上の臨床研修が必須化される「新医師臨床研修制度」が始まった年でした。2003年卒と2004年卒で大きく変わったこととして、専門分野に進んだ後の修練期間が異なることが挙げられます。例えば循環器内科を例にとると、2003年卒の医師は医師1年目から専門の指導を受け、カテーテル検査など専門技術をすぐに学べました。

一方2004年卒の医師は最初の2年間は研修医であり専門領域を本格的に学べない状況でした。これにより自分たちが3年目になった時の専門医としての経験値は、旧制度時代の1年目の先生とほぼ同じという状況でした。私は卒業後3年目の2006年に循環器内科の道に進みましたが、1学年上の先輩は既に2年の専門研修を終えた状態であったことも手伝って、とても眩しく見えたことを覚えています。

大学院時代

2004年から徳島大学で研修医時代を過ごした私は、2006年に徳島大学第二内科(循環器・消化器内科)に入局しました。学位持ちで開業医の父から「取っておくものだろう」と言われたことから、入局と同時に博士課程に進学しました。博士課程を最短で卒業した後は実家のある高知に帰り医院を継ぐ、そんな風にぼんやりと考えていました。

そんな時、私の医師人生の“1つ目のターニングポイント”である徳島大学・山田博胤先生との出会いがありました。当時米国留学から帰国した直後だった山田先生が「米国最高の施設に負けない指導をする」という殺し文句を私におっしゃり、その言葉を真に受けた私は心エコー図研究の道に進みました。学位論文となった最初の原著論文は、当時エコーの最新機種に搭載されていたdual Doppler法を用いた心房細動症例における左室拡張能を評価した研究ですが、徳島大学心音・心エコーグループの伝統である左室拡張能と最新技術があわさった論文であり、思い出深い研究の一つです(図1)。

留学時代

“2つ目のターニングポイント”は医師8年目、2011年から3年間の米国留学です。米国クリーブランド

クリニックの当時のTOPであるThomas H Marwick先生に師事しました。

2011年、心エコー図領域ではスペクトルトラッキング法による心筋伸縮率を示すストレイン計測を用いた研究が全盛期であり、米国最大の心臓血管手術施設であるクリーブランドクリニックのデータを使うことで、多くの弁膜症に関する知見を報告することができましたし、動物モデルを使った基礎研究にも関わることができました(図2)。

私は学生時代から大学院時代まで研究について基本的に受け身で過ごしていたのですが、米国留学により医学研究の楽しさにどんどんはまっていきました。また、家族と過ごす時間も多く取れ、留学中は週休2日、17時帰宅(朝は早かったです)、2か月に1回は米国内で家族旅行(主に国立公園)をする、人生の夏休み状態でした。上司・同僚に恵まれたこともあり、留学中の3年間で1st authorを務めた原著論文は20本を超えました。

最近の思い出として、直属の上司であったMarwick先生が2024年に米国心臓病学会(ACC)のDistinguished Mentor Awardを受賞され、その推薦文の1つを私が執筆させていただいたことがあります。留学時の繋がりは今もかけがえのない財産です。

帰国後

2014年に帰国後も心エコー図検査の研究を継続していたのですが、臨床・研究の中で常に疑問に思っていたことがこの検査の精度・再現性に関することです。最たる例として、左室収縮能の指標である左室駆出率が挙げられると思います。エコー画像をみて自分が「40%くらいだな」と思ったときに、先輩の「いや、これは50%あるだろう」という鶴の一声で左室駆出率が決まってしまう現状をみて、計測値の標準化がなされていない領域だなと感じました(図3)。

そして“3つ目のターニングポイント”である人工知能(AI)との出会いが訪れます。2018年、日本循環器学会の「循環器領域におけるIoT技術の進歩」という人工知能・AIを医療に活かすことをテーマにしたセッションに参加し(図4)、人工知能・AIを用いることで心エコー検査の精度・再現性だけでなく、多くの医療課題が解決できるのではないかと考えました(図5)。その後、多くの幸運な出会いもあり、現在もAI研究は私のメインテーマの一つです(図6)。

琉球大学への赴任

2022年秋頃、AIの社会実装に向けた起業なども準備していた時に、講座の長である佐田政隆教授より教授選に出てみないかとお誘いがありました。心音・心エコーグループの諸先輩方から、「大学で研究を続けるためには教授を目指すものだ、目指さなければ意味はない」という考えを聞き育っていたことも後押しし、応募書類を作成し提出したのが2023年1月になります。その年に教授選を無事終えることができましたが、これまでの多くの出会いがあつての事だと思っています。

2023年7月に赴任してから、目まぐるしい日々が続いています。私が赴任した第三内科(循環器・腎臓・神経内科学講座)は沖縄県における唯一の医師育成・研究機関である琉球大学の三つの内科学講座の一つです。基本的かつ総合的な内科診療を通じて地域社会に貢献するとともに高度な専門医療を提供する使命があります。沖縄という遠隔地の特性から多様な医療ニーズに対応するための自己完結型医療体制整備を進める必要があり、医療を支える人材育成が教育理念の核心です。私自身の仕事は赴任後に大きく変容していますが、これもまた人生と思って楽しんでいくところです。

さいごに

私のこれまでの歩みを振り返ってみると、父の跡を継ぐと思っていた自分に訪れた3つのターニングポイント(心エコー図領域への道、留学への道、AIへの道)が、私を現在のポジションに導いたわけですが、そのすべては「人との出会い」だったと思います。

浦添市医師会の先生方ともこの講演会を通して出会うことができましたので、このつながりを大切に、浦添市、ひいては沖縄県全体の安定的医療体制の構築を進められますと幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度那覇空港航空機事故対処総合訓練(報告)

日時：令和6年2月8日(水) 14:00
場所：那覇空港西側台風時避難用エプロン



救急・災害担当理事 比嘉 富貴

那覇空港航空機事故対処総合訓練は、国土交通省大阪航空局那覇空港事務局が主催し行われた。航空機事故により多数の負傷者が発生したことを想定し救急医療救護活動に特化した訓練である。関係機関による相互の綿密な連携のもと、救急救護医療活動を適切かつ迅速に実施し、人命被害等の軽減に努めることを目的とする。

参加機関は消防機関、医療関係、警察、自衛隊、その他協力隊、支援機関を合計し、62機関、参加人数は250名。車両約30台とヘリコプター1機で行われた。

我々浦添市医師会は各医師会とともに第3救護所(緑色テント)の担当となった。浦添市医師会は医師・看護師および事務職員で参加し那覇市医師会の担当医師がリーダーとなり救護にあたった。

訓練が開始となり昨年は縮小されていた、飛行機内からの避難や放水訓練から始まり避難後は患者トリアージを行い、我々は軽症患者の救護にあたった。

私は2度目の参加であり最初こそ戸惑ったものの、昨年と比較し比較的早く対応出来るようになり次第に周囲の状況を観察出来るようになってきた。

昨年同様に医療者のみでなく沢山の機関の連携によって人命救助が成り立っており、このような訓練を繰り返すことが有事の際の連携や対応を迅速に行えるようになることをより実感することができた。

本来はこのような事が起こらない事が望ましいのであるが、今年の初めには能登半島地震や羽田空港での飛行機事故も起こり我々の身にもいつ降りかかるもわからないものです。備えや訓練は重要で今回の訓練も前回同様学ぶことも多く、今後もぜひ多くの方に参加してもらい私も今後も参加したいと思います。関係者各位の皆様お疲れ様でした。

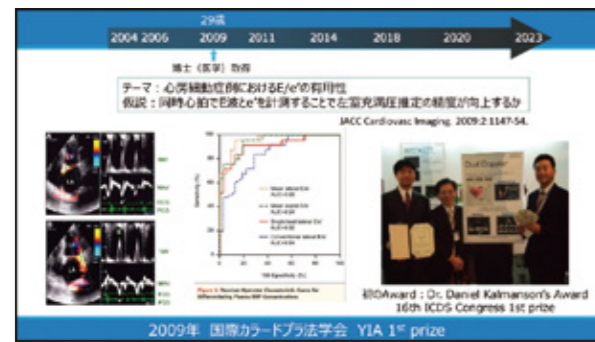


図1

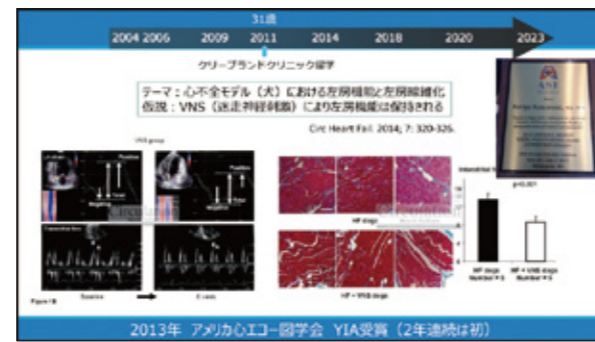


図2



図3



図4

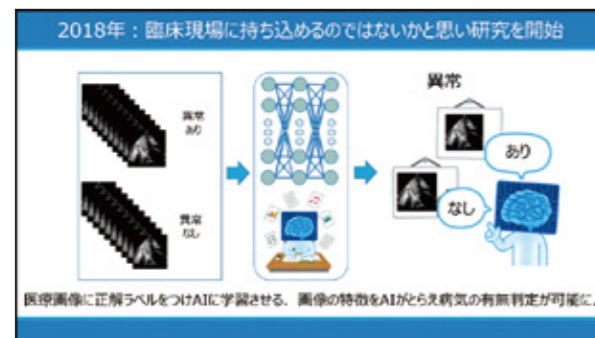


図5

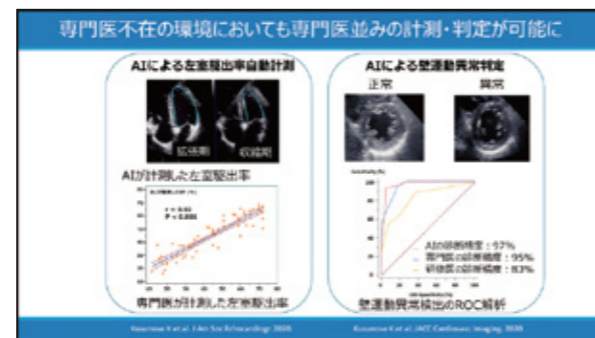


図6



講師の楠瀬賢也先生



那覇空港航空機事故対処総合訓練へ参加して

牧港中央病院 看護師 津波古 充友



今回、那覇空港における航空機事故の発生の際に、空港内外の各関係機関相互の緊密な連携を保ち情報伝達、空港火災の消火、人命救助、救急医療活動、各種規制、搬送の手順を検証することを目的に那覇空港西側台風時避難用エプロンで訓練が行われました。

飛行機のエンジンより出火し、胴体付近まで広がり多数の負傷者が発生しているという想定で消防車が颯爽と到着し、迫力のある消火活動が実施され訓練が開始されました。その迫力に目を奪われながら、役割である救急医療活動の訓練場所へと向かいました。

浦添市医師会は第3救護所(緑テント)の担当となりました。テント内に入ると要救助者の助けを求める声や医療者スタッフの声などが飛び交い、実際に災害現場にいるような光景に戸惑いながらも訓練に参加しました。エプロン内は救助ヘリや車両、サイレンなど様々な音があふれ、情報収集もままならない状況でした。担当場所では言語障害やパニック発作の方が救助者として想定されていました。なぜ、震えているのか、返答がないのかわからず困りましたが、自己紹介、協力の意思を伝え、相手のジェスチャーで理解することができました。怪我の処置を行ないながら、傷の状態や周囲の状況を伝えることで落ち着くよう声掛けをおこないました。

今回の訓練では、初めて災害訓練に参加することで貴重な体験と多くの学びを得ることができました。消防隊や海上保安庁や警察関係の方など他の専門分野との協力・連携を体験できました。また救急医療活動では対応した要救助者のような方が実際の現場にいることに気づき、災害看護においても不安な気持ちに寄り添う精神的ケアはとても重要な技術だと感じました。

2024年は元日の能登半島地震、2日の羽田空港でのJAL機と海上保安機の衝突事故など年のはじめから大きな災害や事故が続きました。ニュースや情報を見るたびに被災者や事故に遭われた方々を思い、ただただ言葉を失うばかりでした。今回の経験から日頃からの訓練が非常に大事だと再確認できました。自施設でも学んだ知識と経験を生かしていければと考えています。この度はこのような訓練に参加させていただきありがとうございました。



お疲れ様でした!

第64回 浦添市医師会ゴルフコンペ



日時: 令和6年3月20日(水・祝) 7:00

場所: 琉球ゴルフ倶楽部

宮良クリニック 上原 哲夫



暖かい春の風になったかと思う3月20日春分の日、戻り寒さ(ムドイビーサ)が戻って来て、厚着をしたほうがいいのか悩むような寒さを感じる今回のコンペの天気でしたが、朝露の残る高台の琉球ゴルフ倶楽部で早朝7時、14名のゴルファーが参加しスタートしました。コースは、2週間程前に行われたダイキンオーキッドの大会会場と同じ西→東で行われ、整備された早いグリーンに3パットや4パットと苦労することや、厳しいラフからの脱出困難、バンカーからのホームランなどタラレバを眩きたくなるプレーもありましたが、後半は暖かい日差しも出て、無事全員完走できました。ロングホールのドラゴンや、ショートホールのニアピンを目指したカー杯の熱戦が繰り広げられました。

その結果、優勝は福本泰三先生、2位平安良雄先生で、ベストグロスには45+43=88 仲宗根豊先生でした。寒さやコースの厳しさ等もあり、90切りはお1人で、後半の43は素晴らしいスコアで、ハーフ45を切ったのは2位の平安良雄先生とお2人だけでした。おめでとうございます。

ラウンド後の反省会も久しぶりに行われ、各賞の授与や受賞者の喜びの声もありました。親も優勝したので、自分も優勝を目指して頑張りたいと言う歴史を感じるような平安良雄先生の熱い発言もありました。私も4位でしたが、暫定3位に繰り上がり、2回目のコンペの報告の担当をおおせつかりました。各組の熱戦の模様やナイスプレーを報告することができないのは残念ですが、全てのプレーヤーに心に残る一打一打のナイスプレーがあったと思います。その快感があるから、ゴルフは続けられるのでしょうし、次はこうしようとりベンジを期待しながら・・・いいスコアを出すにはどうしたいのかと日々思い悩むのもゴルフの楽しみです。

全てをボギーで回れば90になるのですが、たまにパーを取ると、新しくなったカートのナビが拍手で迎えてくれるようになり、それに酔いしれていると次にダボやトリが飛んでくる。それを取り返そうと起死回生の一打を夢見ながら振り回すと泥沼の深みにハマる。このタラレバの雑念をふりきり冷静に平常心を保てるかが問われてくる修行のようなスポーツでもあります。3オン2パットでボギーと言う悟りの境地を、往年のシングルの86歳のプレーヤーと一緒に回ると実感できますが、なかなか自分にはまだ実行できていません。ボギープレーヤーは90を切ることが目標であり、憧れです。あの大きな叩きがあればの反省と、次の戦略に悶々としながら鍛錬を繰り返し、徐々に上手くなることも楽しみです。今回いい成績のプレーヤーも日頃の練習の成果が出た結果だと思います。お互いの目標に向かって楽しくゴルフを、長く続けたいなあと今日この頃です。

次回もたくさんのゴルファーが参加されます事を楽しみにしています。

第64回浦添市医師会ゴルフコンペ結果

<順位>

優勝	福本泰三先生	浦添総合病院健診センター
準優勝	平安良雄先生	平安病院
3位	上原哲夫先生	宮良クリニック
4位	仲宗根豊先生	なかそね内科・循環器科
5位	照屋徹先生	ていーら整形外科
6位	辺土名仁先生	みどり耳鼻咽喉科
7位	石川真先生	牧港眼科
8位	比嘉耕一先生	ひがハートクリニック
9位	宮国孝男先生	乳腺・甲状腺クリニックうらそえ
10位	仲宗根竜也先生	たつや整形外科
11位	銘苅晋先生	浦添総合病院
12位	洲鎌盛一先生	牧港中央病院
13位	比嘉明先生	比嘉眼科

<各賞>

優勝	福本泰三先生
準優勝	平安良雄先生
3位	上原哲夫先生
ニアピン賞(4本)	平安良雄先生 (西3)
	照屋徹先生 (西8)
	上原哲夫先生 (東4)
	なし (東7)
ブービーメーカー賞	比嘉明先生



この日は風が強く、3月半ばには少し肌寒い中スタートしました



優勝の福本泰三先生、2位の平安良雄先生、おめでとうございます！



3位の上原哲夫先生
おめでとうございます！

令和5年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置され今年で10年目を迎えます。

令和5年度 浦添市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告(概要) (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

①現状分析・課題抽出・施策立案

地域の医療・介護の資源の把握

- ・浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページの管理・運営
(URL: <http://www.urasshii.com/>)
- ・掲載内容の更新、新規事業所や休止事業所の把握、専門職への情報提供
- ・受け入れ可能な医療的処置・管理別事業所一覧(訪問歯科を追加)

在宅医療・介護連携の課題の抽出

- ・浦添市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会(3回)
- ・在宅医療ネットワーク世話人会(12回)
(在宅療養支援病院・診療所と訪問看護ステーションとの意見交換会2回)
- ・認知症ネットワークミーティング(3回)
- ・救急現場における医療・介護連携に向けて介護関連施設へのアンケート調査(1回)

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ・在宅医療や在宅主治医に関する依頼・相談(18件)
- ・在宅主治医(訪問診療)の紹介(7件)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業との事業間連携について
(2回、アンケート1回、周知)
- ・認知症総合支援事業との事業間連携について(周知)

②対応策の実施

在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・相談件数(59件)
- ・うらっしー紹介チラシ配布(行政、市内医療機関・介護事業所)

地域住民への普及啓発

- ・市民公開講座の開催(1回)
- ・命しるべいのちの道標パンフレット:介護事業所へ配布、市民公開講座にて市民へ配布
- ・医療行為一覧:医療機関・介護事業所へ配布、多職種連携研修会にて配布
- ・「地域住民への普及啓発」リーフレット作成

医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・高齢者福祉施設等における救急ガイドブック普及啓発に向けて意見交換会(1回)
- ・入退院時の連携支援として、MSWと介護支援専門員との意見交換会開催の検討
(令和5年多職種連携・浦添市介護支援専門員従事者研修会にて「入退院支援」について事前アンケート実施)

医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・多職種連携研修会の開催(1回)
- ・ACP普及目的「もしバナカード」を使用し関係機関へ講習開催(5回)
- ・各種研修会への参加(3回)

③その他

在宅医療・介護連携に関する関係地区町村の連携

- ・地区医師会コーディネーターミーティング
- ・在宅医療・介護連携市町村支援事業コーディネーター等連絡会議

その他

- ・うらそえ介護福祉士会の連携(随時)
- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う5月8日以降の診療体制に関するアンケート調査(1回)

入会・退会・異動報告 (令和6年1月～4月理事会)

入会			
氏名	医療機関名	診療科目	入会年月日
島川 朋享	同仁病院	整形外科	R6.4.1

退会			
氏名	医療機関名	退会事由	退会年月日
田中 由香子	くららクリニック	閉院ならびに医師会の異動	R6.1.31
池村 富士夫	同仁病院	退職	R6.3.31
森山 直樹	同仁病院	医師会の異動	R6.3.31
平良 勝義	丸勝中央クリニック	その他	R6.3.31

表彰

(令和6年1月～4月)

令和6年春の叙勲 瑞宝双光章 受章

狩 俣 陽 一 先生 (かりまた内科医院 理事長)

学校保健功勞 (文部科学省)

学校医歴40年以上

- ・読谷村立喜名小学校 (昭和57年度)
- ・沖縄県立浦添工業高等学校 (昭和58年度～平成2年度)
- ・浦添市立神森小学校 (平成3年度～令和5年度)

～この度の受賞、誠にありがとうございます～



理事会報告 (令和6年1月～4月)

令和6年1月15日 (月) 19:00

1. 退会・異動報告
2. 能登半島地震被災地支援 (JMAT沖縄) 報告について
3. 令和6年能登半島地震への医療救護班 (JMAT) 派遣について (緊急)
4. 第152回浦添市医師会学術講演会について
5. 令和6年浦添市医師会旧正新年会について
6. 浦添市医師会糖尿病医療連携体制推進講演会について
7. 九州厚生局および沖縄県による個別指導立会いへの協力依頼について
8. プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣について
9. 琉球大学医学部新任教授の記念講演ならびに懇親会について
10. 承認事項
 - ・在宅医療・介護に関する多職種向け沖縄の生活史研修会への後援について
 - ・浦添市子育て支援情報誌への広告掲載依頼について

令和6年2月19日 (月) 19:00

1. 入会・退会報告
2. 会議・委員会等参加報告
 - ・令和5年度第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会について
 - ・令和5年度第3回医師会組織強化検討委員会について
 - ・令和5年度沖縄県医師会労災部会総会について
 - ・令和5年度第2回浦添市健康づくり推進協議会について
 - ・令和5年度第3回南部地区医療提供体制協議会について
 - ・令和5年度那覇空港航空機事故対処総合訓練について
3. 令和5年度浦添市医師会糖尿病医療連携体制推進講演会について
4. 九州厚生局沖縄事務所の個別指導及び監査に係る立会いについて
5. 沖縄県医師会代議員の選出方について
6. 第64回浦添市医師会ゴルフコンペについて
7. 第64回浦添市医師会定時総会について
8. 承認事項
 - ・15th. With you～OKINAWA2024後援依頼について
9. その他
 - ・沖縄県慢性期医療協会診療報酬改定対策セミナーのご案内について
 - ・JMAT沖縄 (第1陣) 派遣報告について

令和6年3月18日（月）19:00

1. 会議・委員会等参加報告
 - ・沖縄県医師国民健康保険組合第100回組合会議について
 - ・令和5年度第3回外国人医療対策委員会について
 - ・令和5年度第1回地区医師会長会議について
 - ・災害医療に関する浦添市・浦添市医師会との意見交換会について
 - ・令和5年度第2回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会について
 - ・令和5年度第4回地域包括ケア推進委員会について
2. 第64回浦添市医師会ゴルフコンペについて
3. 第64回浦添市医師会定時総会について
4. 浦添市医師会4月二水会の開催について
5. 保育園や学校に提出する感染症意見書（医師記入）の変更について
6. 令和6年度学校健診協力医についての協力願いについて
7. 沖縄県医師協同組合の総代選出について
8. 任期満了に伴う医師国保組合組合会議員の選定について
9. 承認事項
 - ・浦添市個別予防接種委託料見積りについて
 - ・浦添市令和6年度成人の風しん予防接種委託料見積りについて
 - ・沖縄県母子保健推進員連絡協議会賛助会費について
10. その他
 - ・第16回沖縄県医師会新研修のためのシンポジウム・歓迎レセプションのご案内について
 - ・台北市医師公会との懇談会・懇親会の開催について

令和6年4月15日（月）19:00

1. 退会報告
2. 会議・委員会等参加報告
 - ・令和5年度第2回おきなわ脳卒中地域連携員会総会について
 - ・4月二水会 外国人の診療に関するセミナーについて
3. 令和6年度浦添市医師会各種表彰候補者の推薦について
4. 令和6年度診療報酬改定にあたっての勉強会について
5. 災害時ライフライン確保状況アンケートについて
6. 浦添市医師会学術奨励賞規則改訂（案）ならびに令和6年度（第26回）学術奨励賞演題募集について
7. 浦添市医師会役員改選について
8. 承認事項
 - ・「認知症の早期診断と連携を考える会」後援依頼について
 - ・「国保税（料）引下げ等国保制度改善を求める署名」署名協力について
9. 報告事項
 - ・移転開院（診療所名変更）のご案内 令和6年5月1日移転開院
まちなと内科在宅クリニック → にぬふあぶし診療所

講演会・研修会等のご案内

予定が変更になることもございます。ご了承ください。

日 時	講演会・研修会・行事名	場 所	講 師	日医生涯教育制度 カリキュラムコード
6/20(木) 19:00	浦添市CKD・ 糖尿病性腎症対策講演会	浦添総合病院 4階大ホール	座長：小林竜司 先生 （牧港中央病院 腎臓内科部長・透析室室長） 講師：金城明日見 氏 （浦添市福祉健康部 健康づくり課） 北村謙 氏 （浦添総合病院 腎臓内科部長）	73(慢性疾患・ 複合疾患の管理) 12(地域医療)
6/24(月) 19:00	第65回 浦添市医師会定時総会	浦添市医師会	—	—
7/3(水) 19:00	二水会 沖縄県医師会長田名毅先生との懇談会	浦添市医師会	田名毅先生 （沖縄県医師会 新会長・首里城下町クリニック第一 院長）	—
7/17(水) 19:00	令和6年度（第26回）浦添市医師会 学術奨励賞発表会・表彰式	浦添市医師会・ZOOM	—	—
8/9(金) 19:00	第32回 浦添市医師会ボウリング大会	てだこボウル	—	—
9/12(木) 18:00	第25回 うらそえ市民公開講座	アイム・ユニバース てだこホール大ホール	ドキュメンタリー映画「ケアを紡いで」	—
9/18(水) 19:00	第155回 浦添市医師会学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	—	—
9/22(日) 07:24	第65回 浦添市医師会ゴルフコンペ	琉球ゴルフ倶楽部	—	—
10/9(水) 19:00	二水会	浦添市医師会	—	—
10/12(土) 17:15	第63回地区医師会連絡協議会	ラグナガーデンホテル	—	—
10/13(日) 07:12	第63回地区医師会連絡協議会 親睦ゴルフコンペ	琉球ゴルフ倶楽部	—	—

※浦添市在宅医療ネットワーク世話人は毎月開催、浦添市認知症ネットワークミーティングは年3回開催しております。
詳細が決まり次第ご連絡申し上げます。

事務局からのお知らせ

浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

浦添市医師会事務局

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
E-mail:info@uraishi.or.jp http://www.uraishi.or.jp

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698

弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の一親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。

供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのようなときは浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

浦添市医師会報へ掲載する表紙写真・会員寄稿 病院だより・診療所だより等のご寄稿を募集しております

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話・・・など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。

浦添市医師会報誌面を活用し、会員間、病院—診療所間の交流や各施設の情報提供などを目的として「病院だより」「診療所だより」のコーナーを設けております。お知らせ等お気軽にご寄稿いただけますと幸いです。

原稿は随時募集しておりますので、メールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

寄稿仕様

①表紙の写真

写真タイトル・表紙のことは(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

③病院だより・診療所だより

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、ご投稿ください。お知らせや診療についてのご案内等お寄せください。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。頂きましたご連絡先は、校正等のご連絡に使用させていただきます。

★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101
TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
Email:info@uraishi.or.jp

～お知らせ～

第25回うらそえ市民公開講座

ドキュメンタリー映画
「ケアを紡いで」上映!!

日時：令和6年9月12日（木）
18:00開場・18:30開演

場所：アイム・ユニバース
てだこホール（大ホール）

- ・映画「ケアを紡いで」上映会
- ・トークディスカッション

もう
ご期待!!



27歳でステージ4の舌がんの診断を受けた看護師の鈴木ゆずなさん。

AYA世代（概ね15歳から39歳までのがん患者）が直面する就労、結婚、妊娠、お金などの悩みや、制度の狭間にあっても地域での支え合いやケアを受けながら過ごす、ありのままの日々を記録したドキュメンタリー映画です。是非ともご来場下さい。



診療所名変更のお知らせ

まちなと内科在宅クリニックは令和6年5月1日より「にぬふあぶし診療所」に名称が変わり、所在地も変更になりました。また、新たに「訪問看護ステーションにぬふあぶし」も開設いたしました。



編集後記

令和6年元日の能登半島地震、翌1月2日の羽田空港衝突事故と新年早々連日の災害で始まった本年も、既に半年が過ぎようとしています。また、4月3日には台湾花蓮地震に伴う沖縄県全域での津波警報発令は、当県も災害と無縁ではないことを改めて実感されたのではないのでしょうか。災害対策はもちろんのこと、医療従事者としては災害時の支援や受援について日頃より考えておく必要があると認識いたしました。

ところで、医療・福祉に目を向けると、本年度のトリプル改定における医療分野は、0.88%のプラス改定と日本医師会はコメントしています。しかし、実際の内容は絵に描いた餅のような項目も散見され、実質マイナス改定の印象を受けたのは私だけでしょうか。何やら複雑なベースアップ評価料に至っては、導入するのも大変、導入しなくても大変、皆様悩まれていることと思います。

さて、今回の令和6年春夏号では二水会新年行事である旧正新年会の報告と、同じく4月の二水会では外国人診療に関する勉強会について、第152回浦添市学術講演会は琉球大学医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座の楠瀬賢也教授より「琉球への航路・医療の未来への軌跡と展望」と題しご講演いただいた内容をご寄稿いただきました。令和5年度那覇空港航空機事故対処総合訓練では比嘉富貴理事（牧港中央病院）と津波古充友さん（牧港中央病院看護部）より訓練内容の報告をいただきました。年始の羽田空港での事故直後ということもあり、緊迫した中でより充実した訓練が行えたのではないかと思います。

64回を迎える浦添市医師会ゴルフコンペは上原哲夫先生（宮良クリニック）よりご報告いただきました。コロナ前のように表彰式ができるようになりましたので、今後もより多くの会員に参加いただき浦添市医師会コンペを盛り上げていただきたいと思います。

今回の春夏号を無事にお届けするにあたり、ご寄稿いただいた皆様に心より感謝いたします。引き続き会報へのご寄稿のご協力を宜しく願いいたします。

照屋 徹（会員親睦・広報副担当）

浦添市医師会報 2024年（令和6年）春夏号 通算第94号

発行：一般社団法人浦添市医師会 発行人：洲鎌 盛一

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101

TEL: 098-874-2344 FAX: 098-874-2362

E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ http://www.uraishi.or.jp

制作/株式会社スイッチ

2024年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2024年1月～12月)

1月		2月	
8日	稲福内科医院	12日	山本クリニック
22日	まえだクリニック	26日	牧港中央病院
3月		4月	
11日	名嘉村クリニック	8日	池村クリニック
25日	浦添さかい眼科	22日	まちなと小児クリニック
5月		6月	
13日	浦添総合病院	10日	具志堅循環器・内科
27日	徳山クリニック	24日	たつや整形外科
7月		8月	
8日	同仁病院	12日	比嘉眼科
22日	なしろハルンクリニック	26日	ていーら整形外科
9月		10月	
9日	浦添市医師会事務局	14日	宮良クリニック
23日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑	28日	マンマ家クリニック
11月		12月	
11日	キンザー前クリニック	9日	みやざと内科クリニック
25日	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック	23日	平安病院

ラジオ
番組

浦添市医師会提供

「ゆんたく健康トーク」

毎月第2・第4月曜日

午後8時～9時

月2回

FM21(76.8Mhz)で好評放送中！

FM21「ゆんたく健康トーク」 ♪♪ 放送形態変更のご案内 ♪♪

「FM21ゆんたく健康トーク」は、
毎月第2・第4月曜日の午後8時からの放送です(月2回)。
会員施設のみなさまには引き続き
ご出演・ご視聴いただきますようお願い申し上げます。